

❖中部ブロック（愛知、岐阜、三重、長野、福井、石川、富山、新潟）主催のセミナー。参加者28名でした。

■【第1講座】建築運動と新建活動 -仕事に役立つのか- 講師：今村彰宏（新建富山支部）

新建憲章の2「地域に根ざした建築とまちづくりを、住む人使う人と協同してすすめよう」の実践としての今村さんのこれまでの日常の仕事と新建活動との関わりについてなど、お話いただきました。

□新建活動は仕事に役立っているから、1970年から47年間続けています…

新建活動において得た仲間と知識とともに、仕事や地域活動などを行い、現在の自分がある。

□大衆的・社会的運動と建築運動・新建活動…主たる活動は、会員個々の自分の職場が中心の日常業務。

□新建発足の頃の運動の方向性（社会派建築宣言の序文-本多昭一氏より）…

社会変革よりは、基本的に、現在の社会機構の中で技術者として最善の努力を積み重ねよう。

□これからの新建活動…良い仕事をする為の仲間づくり、日常的な関わりを持つ努力をする。若い人は熟練会員を利用して、活動スタイルや仕事のやり方を改善して、自らのものにしていく活動を推進してほしい。

■【第2講座】クールな田舎をプロデュースする！ -SATOYAMAの可能性- 講師：山田 拓

㈱美ら地球（ちゅらぼし）の代表取締役である山田拓さん。

2016年JR高山駅の新駅舎完成とともに構内へ、飛騨高山観光を

120%楽しむ為のカフェとして「iCafe TAKAYAMA」をオープン。

コンサル会社にて東京やNYで働き、その後2年、世界中を旅してきた経験から、その土地ならではの暮らし、風土が残っている光景に感銘を受け、飛騨地方に受け継がれてきた伝統的な暮らしを未来へつなげる為、里山サイクリングなど外国人向けのツアーや古民家空き家の民泊改修などのプロデュースをしているそうです。

日本の地方里山の、ポテンシャルの高さを生かした観光を実践する日本人が少なく、海外企業が参入する中、世界視野を持って仕事をされているのが良く分かり、刺激を受けました。日本の田舎はクール！（カッコいい）。



■【第3講座】地域の建築力・住まいづくりと工務店 講師：甫立浩一（新建愛知支部）



甫立さんの日常業務や、新建活動を通じて仲良くなった全国の方、地域に根差す工務店として全国の工務店の経験や取り組みなど、紹介いただきました。様々な経験や現状を話し合いながら活力やヒントを見つけて、実践へつなげていきたいとのこと。

いつも近くで一緒に活動していますが、新しいものを取り入れていく姿勢や、全国の方々との交流の多さは見習うべき所です。第30回全国研究集会 in 吉野の分科会でもお話しいただいた、施工者と設計者がいかに連携し、いかに生き残っていくかについて継続して考える機会となり、とても勉強になりました。

■【第4講座】今の林業最前線と野生鳥獣 講師：久保田 淳（新建長野支部）

講師の久保田さんは長野県南信州地域振興局林務課にて鳥獣対策専門員をしていらっしゃる方でした。

□森林資源、木材生産量、地域材住宅関係等はデータ上は良好であるが、セミナー参加者には実感がない現状。

□林業は補助金がないと利益がでない。森林所有者の多くが管理を森林組合へまかせきり。組合職員が疲弊。

□高性能林業機械や道づくりの充実、挑戦している林業者として、長瀬（高山市）、「ソマミチPJ」（松本市）。

□ニホンジカ・クマによる林業被害、公務員ハンター制度など野生鳥獣対策が急がれる、とのことでした。

❖台風が接近する中、室内バーベキュー交流会や、おいしい朝食・昼食とともに、会話のはずむセミナーでした。

とくに多くの用意をしてくださった富山支部と講師の皆さま、お疲れさまでした。（報告：黒野晶大）